



交流拠点都市
美祢市
MINE CITY

みね 議会だより

第10号 平成25年(2013年) 12月1日発行



村田市長に政策討論会の提言を手渡す荒山座長 (P15)

主な内容

○ 審議された議案等	2 ~ 3
○ 議案の内容	3 ~ 5
○ 一般質問	6 ~ 12
○ 委員会報告	13 ~ 14
○ 政策討論会	15
○ 平成25年12月定例会の日程	16
○ 編集後記	16

平成25年第3回(9月)美祢市議会定例会

9月3日~10月1日

第3回美祢市議会定例会は9月3日に開会し、公営企業会計決算の認定をはじめ、一般会計補正予算、条例の一部改正、市道の認定等、合計12件の議案が上程されました。

各議案は所管の教育民生建設観光委員会(9月6日)、総務企業委員会(9月9日)、予算委員会(9月12日)に付託され、集中審議が行われました。また、9月13日には地域産業活性化対策特別委員会が開催されました。

9月24日の本会議にて討論・採決が行われ、それぞれの議案は原案のとおり可決・認定され

ました。また同日会期が延長され、追加議案として、平成24年度決算の認定、一般会計・水道事業会計の補正予算等、合計10件が上程されました。そのうち補正予算2件は、同日審議され、可決されました。

決算の各議案は、9月26日、27日の決算審査特別委員会で審議が行われ、10月1日に上程された議員提出議案2件とともに、討論・採決が行われた結果、それぞれの議案は原案のとおり可決・認定され、閉会しました。

審議された議案等

9月市議会定例会(9月3日~10月1日)

報告第1号	平成24年度の決算に係る健全化判断比率について	
報告第2号	公営企業の平成24年度の決算に係る資金不足比率について	
報告第3号	平成24年度美祢市観光事業特別会計経営健全化計画の実施状況の報告について	
議案第1号	専決処分の承認について(平成25年度美祢市一般会計補正予算(第3号))	承認
議案第2号	平成24年度美祢市水道事業会計決算の認定について	認定
議案第3号	平成24年度美祢市病院等事業会計決算の認定について	認定
議案第4号	平成24年度美祢市公共下水道事業剰余金の処分について	可決
議案第5号	平成24年度美祢市公共下水道事業会計決算の認定について	認定
議案第6号	平成25年度美祢市一般会計補正予算(第4号)	可決
議案第7号	美祢市介護保険条例及び美祢市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	可決
議案第8号	土地改良事業の一部を変更することについて	可決
議案第9号	市道路線の認定について	可決
議案第10号	市道路線の変更について	可決
議案第11号	市道路線の廃止について	可決
議案第12号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意
議案第13号	平成24年度美祢市一般会計決算の認定について	認定(賛成多数)
議案第14号	平成24年度美祢市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	認定(賛成多数)

議案第15号	平成24年度美祢市観光事業特別会計決算の認定について	認定
議案第16号	平成24年度美祢市環境衛生事業特別会計決算の認定について	認定
議案第17号	平成24年度美祢市住宅資金貸付事業特別会計決算の認定について	認定
議案第18号	平成24年度美祢市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	認定
議案第19号	平成24年度美祢市介護保険事業特別会計決算の認定について	認定(賛成多数)
議案第20号	平成24年度美祢市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	認定(賛成多数)
議案第21号	平成25年度美祢市一般会計補正予算(第5号)	可決
議案第22号	平成25年度美祢市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議員提出決議案第1号	六次産業化の推進にかかる美祢地域ブランドに関する要望決議について	可決
議員提出意見書案第1号	地方税財源の充実確保を求める意見書の提出について	可決

報告について

これは「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき、報告されるものです。

報告第1号 平成24年度の決算に係る健全化判断比率について

- 実質赤字比率(一般会計の赤字の程度を示す)及び連結実質赤字比率(市全体の赤字の程度を示す)は、両指標とも運営が黒字のため該当しません。
- 実質公債費比率(借入金の返済額などの財政負担の比率)は15.5%となっており、早期健全化基準(黄信号基準25%)を下回っています。
- 将来負担比率(将来負担する実質的な負担額の比率)は129%となっており、早期健全化基準(黄信号基準350%)を下回っています。

報告第2号 公営企業の平成24年度の決算に係る資金不足比率について

水道、病院、公共下水道の各事業会計及び農業集落排水事業特別会計は資金不足はありませんが、観光事業特別会計は60.5%(23年度は93.2%)となっており、経営健全化基準値の20%を上回っています。

報告第3号 平成24年度美祢市観光事業特別会計経営健全化計画の実施状況の報告について

広告宣伝や観光キャンペーン、修学旅行等の団体客の誘致、サービスの充実などにより収入増を図るとともに、職員体制の見直しや意識改革、指定管理者制度の導入などにより、経費の削減に努めており、資金不足比率は確実に低下を続けています。

専決処分について

議案第1号 専決処分の承認について(平成25年度美祢市一般会計補正予算(第3号))

大嶺町西分の市道七田祖母ヶ河内線しちだおぼんかわちに接する厚狭川の護岸工事が県事業で実施されることとなり、市道の拡幅工事を早急に実施する必要が生じたため、事業費として2,465万2,000円の増額補正するものです。

剰余金の処分について

議案第4号 平成24年度美祢市公共下水道事業剰余金の処分について

当年度未処分利益剰余金6,137万3,299円のうち、減債積立に1,000万円、建設改良積立に2,000万円を積み立てるものです。

決算の認定について

議案第2号 平成24年度美祢市水道事業会計決算の認定について

収益的収支は下記のとおりです。

上水道事業	収入	2億4,156万1,253円
	支出	2億6,538万9,770円
美祢簡易水道事業	収入	1億4,656万9,062円
	支出	1億690万451円
美東簡易水道事業	収入	9,105万6,127円
	支出	9,859万5,183円
秋芳簡易水道事業	収入	1億4,407万6,629円
	支出	1億4,319万3,713円

この結果、当年度純利益は177万9,430円(税抜)となりました。

議案第3号 平成24年度美祢市病院等事業会計決算の認定について

収益的収支は下記のとおりです。

病院事業	収入	34億539万4,620円
	支出	34億1,066万7,186円
入院 77,751人 / 外来 83,873人		
介護老人保健施設事業 (グリーンヒル美祢)	収入	3億6,226万7,288円
	支出	3億5,238万3,404円
入所 24,925人 / 通所 4,560人		
訪問介護事業	収入	4,020万9,237円
	支出	2,912万865円
利用者 4,274人		

この結果、当年度純利益は1,490万7,226円となりました。

議案第5号 平成24年度美祢市公共下水道事業会計決算の認定について

収益的収支は下記のとおりです。

公共下水道事業	収入	4億5,231万4,895円
	支出	4億3,289万2,947円

この結果、当年度利益は2,421万2,548円となりました。

補正予算について

議案第6号 平成25年度美祢市一般会計補正予算(第4号)

6~7月の豪雨災害にかかる復旧費1,420万9,000円を含め、総額5,280万7,000円を増額補正するものです。

議案第21号 平成25年度美祢市一般会計補正予算(第5号)

8月末の豪雨災害にかかる復旧費5,096万7,000円のほか、総額5,677万4,000円を増額補正するものです。

議案第22号 平成25年度美祢市水道事業会計補正予算(第1号)

秋芳地域の水源探査に要する経費950万円を増額補正するものです。

条例の一部改正について

議案第7号 美祢市介護保険条例及び美祢市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

地方税法の一部改正に準じて、延滞金等の割合の特例の改正をするものです。

その他の議案

議案第8号 土地改良事業の一部を変更することについて

於福町下石宗^{いしむね}のため池改修工事において事業費が変更となり、土地改良法の規定により議会の議決を求めるものです。

議案第9号 市道路線の認定について

議案第10号 市道路線の変更について

議案第11号 市道路線の廃止について

県道下関美祢線西厚保町原付近の改良工事竣工に伴い、旧県道を市道として認定し、またこれに接する市道の変更及び廃止をするものです。

議案第12号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員の「岡崎政好^{おがきまさよし}」氏が任期満了となるため、再任することに同意しました。

決算の認定について

議案第13号 平成24年度美祢市一般会計決算の認定について

平成24年度の一般会計の決算は、歳入が200億9,789万9,000円で前年度より4.2%増、歳出は189億5,705万8,000円で4.1%増となり、前年度より増加した決算額となりました。

これは美祢市土地開発公社解散に係る費用により、増加したことが主なものです。

議案第14号 平成24年度美祢市国民健康保険事業特別会計決算の認定について

歳入総額36億8,799万9,000円、歳出総額35億8,044万2,000円となり、歳入歳出差引額1億755万7,000円を次年度に繰り越すこととしています。

議案第15号 平成24年度美祢市観光事業特別会計決算の認定について

歳入総額6億9,840万1,000円、歳出総額11億6,197万4,000円となり、この結果生じた4億6,357万3,000円の不足額は、翌年度の歳入金から繰上充用しています。なお、単年度収支は2億7,016万円の黒字となっています。

議案第16号 平成24年度美祢市環境衛生事業特別会計決算の認定について

歳入・歳出総額はそれぞれ2,466万8,000円となりました。平成24年度の1日平均処理量は512m³となっています。

議案第17号 平成24年度美祢市住宅資金貸付事業特別会計決算の認定について

歳入総額202万7,000円、歳出総額3,175万1,000円となり、歳入歳出差引2,972万4,000円の歳入不足を生じています。これは貸付金の元利未償還によるもので、この不足額は翌年度の

歳入金から繰上充用しています。なお、新規貸付は行っていません。

議案第18号 平成24年度美祢市農業集落排水事業特別会計決算の認定について

歳入・歳出総額はそれぞれ2億3,027万8,000円となりました。施設は別府地区、河原地区、大田地区及び豊田前地区にあります。

議案第19号 平成24年度美祢市介護保険事業特別会計決算の認定について

歳入総額30億6,131万円、歳出総額30億5,407万5,000円となり、歳入歳出差引額723万5,000円となりました。給付が対前年度比較で6.1%増加しています。

議案第20号 平成24年度美祢市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について

歳入総額4億1,628万7,000円、歳出総額4億1,465万9,000円となり、歳入歳出差引額162万8,000円となりました。年間平均被保険者数は5,546人となっています。

議員提出議案について

議員提出議案第1号 六次産業化の推進にかかる美祢地域ブランドに関する要望決議について

六次産業化の推進に関連して、地域産業活性化対策特別委員会で意見集約した「美祢地域ブランドの認定に関する答申」を、美祢市六次産業化振興推進協議会において反映されるとともに、今後の六次産業化の確固たる基盤の構築を要望するものです。

議員提出意見書第1号 地方税財源の充実確保を求める意見書の提出について

地方財政は財政需要の増加や税収の低迷等により厳しい状況が続いています。地方交付税の増額や地方税源の充実確保について、国に意見書を提出するものです。



(純政会)
にし おか
西岡 晃 議員

1 第三セクターの経営改善状況について

問 第三セクターのあり方について
6月議会での第三セクターに関連した市長の発言は「第三セクターは、公益的な部分はしっかりと市が対応し、それ以外については儲けなくてはいけない」という趣旨のように思いますが、今一度具体的にお答えください。

答 第三セクターは、株式会社の企業形態でありながら、民間企業では赤字が見込まれ実施が困難な事業を行う、公共的な性格の強い企業ということで、営業利益を計上することが主目的ではないという特質があります。つまり、公共主導の企業であり、民間企業と同一の尺度で扱うべきではない企業とされています。また、地域産業の活性化を図るための手段として、市の発展の一翼を担っています。したがって、儲けなくてよいということではなく、儲けのみを追求した会社ではないということを示したものです。

問 道の駅おふくは、3月議会で3,000万円の追加出資がされました。

そのとき純政会は、(1)9月議会での事業計画並びに経営改善計画の提示(2)大規模改修等、大きな経営資源の変更は議会並びに市民の意見を反映すること(3)経営責任を明確にできる体制を整備し、情報公開を積極的にすることの3点の申し入れをしましたが、中間期の経営状況並びに今期の見通しについては、どのような状況ですか。

答 現在のところ、昨年より若干経営状態がいいという報告を受けています。中間決算は収支プラス計上の見込みということですが、冬季に落ち込むことも考えられますので、

予断を許さない厳しい状況であると認識しています。

2 上下水道の今後のあり方について

問 水道料金統一の具体的な考え方について、どのようにお考えですか。

答 水道料金は地方公営企業法を適用しており、「公正・妥当かつ能率的な経営のもとにおける適正な原価を基礎とし、地方公営企業の健全な運営の確保をすることができるものでなければならない」とされ、独立採算制で運営しています。

本市の水道施設は、機能診断、簡易耐震診断をしたところ、老朽化が進み、効率的な耐震化が進んでいないという結果を受けています。それらに対応する大きな資金、給水量の減少、中山間地における高い建設コスト、硬度低減化コスト等を踏まえ、併せて業務、建設改良分野における事業のコスト低減を図りながら、水道料金を設定していくことになります。

問 民間活力を利用したPFI方式などでの上下水道事業運営の今後のあり方について、どのようにお考えですか。

答 美祢社会復帰促進センターもPFI方式の刑務所ということで、全国の注目をあびたところですが、上下水道もこの方式で運営しているところが大都市圏ではあります。今後、PFI導入等について、国の指針も出されるようですので、この考え方も確認しながら検討していきたいと思っています。



道の駅おふくのレストラン



(公明党)
おが やま
岡山 隆 議員

1 美祢市が取り組むべき「子育て環境」の整備に関して

問 幼稚園と保育園の機能を併せ持つ認定こども園をはじめとして、家庭保育を含む多様な保育が拡充されています。そうした中で求められている保育士の待遇改善策、予算編成など、子育て支援事業計画は、どのような工程表となるのでしょうか。

答 今後、国より示される基本計画を参照し、平成25年度にニーズ調査を実施するとともに、美祢市子ども・子育て会議において、事業計画の内容について検討していただくこととなります。

また、平成26年度に県との協議・調整を行い、年度末に事業計画・各種条例の制定、新組織体制の移行を予定しています。予算措置等については、平成27年4月以降に子ども・子育て支援交付金として新たに入ってくる予定で、事業計画の策定に伴い、予算の配分をしていくこととなります。

問 少子化に伴い、最近、公立保育園の入園者が大きく定員割れしているところもあります。へき地保育園では定員45名に対して6名程度といった現状です。新たな幼保連携型のこども園の移行、推進及び公立保育園の統廃合などに関して、どのようなご所見をお持ちでしょうか。

答 市内には、へき地保育園を含む公立保育園が10施設、私立保育園が4施設あります。

公立保育園10施設の定員は、合わせて530人、入所者数は274人で、入所率は51.7%です。一方で、私立保育園は4施設の定員215人に対し入所者数は218人で、入所率は101.4%となっ

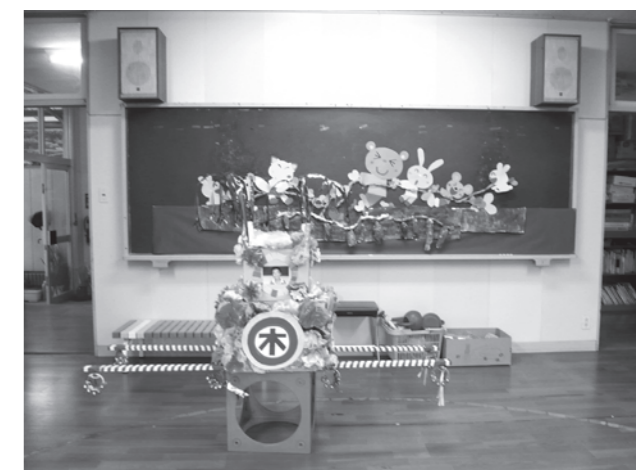
ています。
これは、公立保育園の老朽化が進んでいることも課題の一つであると考えており、今後、統廃合を必要とする状況に至った場合に、その対策を実施するとともに、子ども・子育て会議の中で協議・検討がなされ、あわせて地域の方々や保護者の理解を得ながら、適切に対応してまいりたいと考えています。

2 地域に配慮した市営住宅の活用と建設改良計画について

問 建設後60年経過した市営住宅は約50戸、30年以上経過した市営住宅は約400戸で、全体の5割を超えています。

昨年度、建設改良計画に基づいて、下領北団地が30戸建設されましたが、50年以上経過し老朽化した市営住宅の対応に関して、どのようにお考えでしょうか。

答 現在、市営住宅戸数は、美祢地域が22団地、531戸、美東地域が5団地、127戸、秋芳地域が9団地、178戸で、市全体で、36団地、836戸あります。そのうち、耐用年数を経過したものが318戸、率にして38%存在しています。今後も住宅長寿命化計画に則り、予防保全的な管理を行うことにより、ライフサイクルコストの縮減に努めてまいります。



へき地保育所・綾木保育園内の様子



(日本共産党)
三好 睦子 議員

1 国保税の負担軽減のための健康施策について

問 病気にならない心身、健康づくりのための施策として、手軽にできるラジオ体操普及のために、CD等の貸出を検討されてはどうでしょうか。

答 いろんな体操が普及しているため、ラジオ体操のみへの予算は考えていませんが、健康増進に関する事業を推進する中で、CDの貸出等も検討していきたいと思っております。

問 市内で多くの健康体操のグループが活動をされていますが、この普及と支援について、お尋ねします。

答 公民館等を活用して、地域や団体が自主的に健康づくり体操に取り組まれています。今後も活動の場の提供や団体からの要望に応え、指導、助言を行うことを主体として取り組んでいきます。

問 健康づくりで温水プールを利用する人のために、送迎バスを走らせてはどうでしょうか。

答 温水プールの送迎のために、市内全域でバスを運行することは、大変なコストと時間がかかるため、市全体の交通網の整備の中で検討していくべきことと思っております。

問 骨粗鬆症予防に関して、啓発事業の状況と今後の取り組みについて、お尋ねします。

答 市の健康増進事業では、さまざまな機会に骨粗鬆症予防のための栄養や運動について、理論と実践でお伝えしています。来年度以降、骨粗鬆症をテーマとして講座を開催する

等、市の健康づくりの推進のなかで取り組んでいきたいと考えています。

問 認知症予防について取り組みをお尋ねします。

答 認知症予防講演会の開催、各ふれあいサロンや出前講座に職員が出向くなど、予防に関する正しい知識の普及・啓発に努めています。また、認知症高齢者を地域ぐるみで見守り、支援できるよう、キャラバンメイトを中心に認知症サポート養成講座を開催しています。

今後も認知症予防について、さらに普及・啓発するとともに、安心して暮らせるまちにしていきたいと考えています。

2 若者定住や、美祢市に移り住む環境づくりについて

問 保護者が求める地域に学童保育所を開設できないでしょうか。

答 具体的な要望があれば、設置場所、運営形態、対象児童の把握などを調査し、基準・条例・要綱等に照らし合わせて、設置が可能かどうか判断することになります。

問 小・中学校の通学費を無償にすれば、少子化対策、定住促進につながると思いますが、いかがですか。

答 現在、条例等に従って遠距離通学等には通学費の補助を行い、児童・生徒の安全安心を確保するとともに、保護者の負担軽減を図っています。

通学費の補助については、財政事情などさまざまな条件等を考える必要があり、今後の課題として認識しています。



美祢市温水プール(伊佐町伊佐)



(政和会)
竹岡 昌治 議員

1 総合支援学校の新設誘致について

問 山口県の総合支援学校の状況及び美祢市の生徒・児童の状況について、お伺いします。

答 障害のある児童・生徒の指導及び支援を行う県立総合支援学校は、西部地区(下関市、萩市、宇部市)に5校、東部地区に8校の計13校設置されており、平成24年5月1日現在で、小学部412名、中学部388名、高等部810名の児童・生徒が在籍しています。西部地区では、美祢市、長門市、山陽小野田市には設置されていない状況です。

平成25年8月現在、美祢市内の37名(小学部7名、中学部12名、高等部18名)の児童・生徒が、市外8校の総合支援学校で学んでいます。

また、美祢市では、通級指導教室を大嶺小学校と大嶺中学校に、特別支援学級を小学校8校で11学級、中学校5校で9学級設置しており、一人ひとりの実態に応じた指導や支援を行っています。

問 美祢高の跡地に総合支援学校を誘致することはできませんか

答 総合支援学校をつくっていただきたいということは、かなり前から県の教育長にお話していますが、美祢高の利用もあわせて、引き続き継続して要望していきます。



宇部総合支援学校スクールバス

2 水道料金の一本化、今後の計画について

問 市長の公約である良質な水(軟水)の配水計画と受益者負担原則の認知度についてお伺いします。

答 美東、秋芳地区の水道水の軟水化にあたっては、コスト等の面から旧美祢市で導入しているペレット方式について、調査をするようにしていました。ところが、秋芳地区の多くの住民の方から、秋吉地区の自然の湧水と混ぜることで硬度低減化をしてほしいという趣旨の水質改善を求める要望書が提出されました。これを受けて、今後ペレット方式とブレンド方式のそれぞれのコスト等を計算して検討していくことにしています。

また、軟水化にかかる経費は水道料金に跳ね返ることになります。合併前に旧美祢市で軟水化装置を設置した時は、ていねいな議論を重ね、水道料金の値上げを実施しました。軟水化と水道料金の統合は大きく結びついていますので、美東、秋芳地域だけでなく、美祢地域でも時間をかけて説明し、御理解をいただいた後に、水道料金の統合ができると考えています。



軟水化装置(大嶺町西分)



(友善会)
つばい やすお
坪井 康男 議員

1 地方公務員の給与削減について

問 政府は今年1月、東日本大震災の復興財源確保のため、国家公務員の給与を平均7.8%カットすることを決め、地方にも足並みをそろえるよう要請し、給与原資の地方交付税を減額するとしています。美祢市は国の要請にどのように対応されたかお尋ねします。また、美祢市職員の給与水準は、国家公務員等と比較してどのような状況ですか。

答 給与原資となる地方交付税がいくら減額されたかについては、それを算出する根拠が国から示されていないので、交付税の減額額は不明です。従って、交付税の減額部分を何でカバーしたかについては回答することができません。

地方交付税を給与引き下げの要請手段にすることは、地方自治法の本旨に反すること、これまでの行政改革により7億円超の人員費を削減していること等を勘案して、美祢市は職員の給与を削減しないこととしています。

国家公務員の給与水準との比較では、いわゆるラスパイレス指数があり、国家公務員を100



美祢農林資源活用施設

とすれば美祢市は99.1で、国家公務員の水準を下回っている状況です。また、美祢市の場合、山口県人事委員会の勧告を参考にして県内の地域の実情を反映させたものになっていますので、適正な給与水準であると認識しています。

2 美祢市三セク美祢農林開発の当面の課題と今後の対応について

問 美祢農林開発(株)に対して、平成21～23年度の3年間に年平均750万円の国の「雇用再生特別基金補助金」が支払われ、会社の決算書には【営業外収益】に計上されています。この国の補助金は、美祢市との『業務委託契約』に基づく《委託料》として支払われていることに照らし、【営業外収益】欄への計上は誤った処理ではないかとの疑問が感じられます。この点についてどのようにお考えかお尋ねします。

答 会社が行われた会計処理について、市がその全てを網羅し、指導・助言を行うことは、行き過ぎた行為であると考えていますが、美祢農林開発(株)において、国の補助金の支給目的・要件に合致するよう、雇用拡大のために適正に使用されており、一般的な事業と異なり補助的要素が強いことから、事業外収入として取り扱われたことは、特に問題はないと解釈しています。

問 美祢農林開発(株)に対して、国の補助金の他に、地方自治法232条の2に基づき、美祢市の「竹材資源活用事業運営補助金」が、平成21年度から継続的に支給されています。この補助金が法律の諸規定に照らして適正に使用されているかどうか、お尋ねします。

答 美祢農林開発(株)に対して、確かに平成21年度に補助金2,000万円を支給し、その結果、剰余金630万円が生じていますが、精算条項がないため、全額繰越利益剰余金として翌年度に繰り越しています。したがって、翌平成22年度の市からの補助金は圧縮されており、市の補助金は適正に使用されていたと解釈しています。



(新政会)
たかぎ のりお
高木 法生 議員

1 ジオパークへの取り組み状況について

問 美祢市は、秋芳地域の石灰岩(白)、美祢地域の石炭(黒)、美東地域の銅(赤)という歴史的地質遺産を背景に、ジオパーク認定を目指しておられますが、県からのジオパーク関連の交付金等の有無についてお尋ねします。

答 ジオパーク推進に関する補助制度はありませんが、内容によっては補助対象になるものもあると認識しています。山口県知事も美祢市が取り組んでいるジオパークや台湾事務所の開業等についてよくご存知であり、今後も県とお話をしながら、できる限り市の負担が少ない形で、ジオパーク事業を推進していきたいと考えています。

問 ジオパークへの機運の高揚を図るため、シンポジウムや各地域でのセミナー等開催されていますが、まだまだ市民の認識や関心の度合いが薄いように感じられます。このことについて、どのようにお考えですか。

答 地域の活性化のため、ジオパークを政策の柱とし、平成23年12月に開催したシンポジウムを皮切りに、みね市民力育成セミナー、みねジオパークモニターツアー等を開催し、また、昨年の7月から協議会便りを毎月発行するなど、ジオパーク活動の普及・啓発に力を注いでいます。セミナー等への参加を機に、地域独自でまちづくり活動を積極的に展開されている例もあり、徐々に市民の認識が高まっていると認識しています。

今後も気運の醸成に努めてまいります。

問 ジオパーク活動は、地球科学、環境問題、防災など様々な観点から、自然遺産を教育や観光に活用することも重視していると言われていますが、学校教育活動との関わりについてお尋ねします。

答 世界遺産が遺産の保護を目的としているのに対し、ジオパークは遺産の保護に加えて、教育や地域の活性化も目的としています。私たちの足元にある資産の価値を学び、保全意識を向上させるとともに、大地の恵みを活用して地域の活性化につなげていく必要があります。現在、小学校では副読本「ふるさと美祢」を活用してジオパークについて学習し、中学校では社会科や総合的な学習等を活用して、ジオパーク認定に向けた取り組みについて学んでいます。

問 美祢市はどのようなジオパークを目指しておられるのかお尋ねします。

答 美祢市は、人口規模は小さな市ですが、秋吉台、秋芳洞のほかに、石炭や銅など世界に誇れる大きな自然遺産や歴史を持っています。これらを市民が一丸となって日本中に、また世界に紹介し、認知度を高めることによって、国の内外から多くの観光客が訪れ、地域に活力が生まれてくるものと考えています。

今後は、農林業の六次産業化を強く推進し、商品の開発、美食の開発、おみやげの開発など、「市民が未来に対する夢や希望を持つためにはどうすれば良いか」という目標をジオパーク認定に重ね合わせ、市民と共に考える努力をして行かなければならないと考えています。



みね市民力育成セミナー



(純政会)
やまなか よしこ
山中 佳子 議員

1 合併後5年間美祢市が取り組んできた施策について

問 目標人口3万人の設定に対し、年間約500人の人口が減少していますが、合併後5年間に美祢市が取り組んできた定住対策・少子化対策についてお尋ねします。

答 市民が安心して暮らすことができる政策こそ定住対策の基本であると考え、2つの市立病院の安定経営、学校施設の耐震化工事を行ってきました。

また、企業誘致活動や観光振興にかかわる諸施策、住宅団地販売事業、UJIターン促進事業、ファミリーサポートセンター運営事業、子育て支援センター運営事業など実施してまいりましたが、日本全体、山口県全体の人口が減っており、人口減少に歯止めがかからないことは事実です。

2 若者が住み続けられるまちづくりについて

問 職業としてやっていける農業の基盤づくりや若者への支援についてお聞きします。

答 人・農地プランの策定では、エリアを設定し計画的に農地を集積することで、農地の出し手には面積に応じて30万から70万円交付されます。

また、プランの経営体となる45歳未満の就農者に対して、年間150万円の青年就農給付金が最長5年間交付されます。そのほか、新規就農者農地確保支援事業、集落営農の法人化、六次産業化の推進をしております。

3 インフラ整備について

問 今年度、美東、秋芳地域の簡易水道に対して硬度低減化装置設置のための調査費2,800万円が予算化されていますが、進捗状況はどうなっていますか

答 美東、秋芳簡易水道の硬度低減化に向けて、6月に変更認可書類の作成及び申請に伴う設計書、全体事業費の積算等について、業務委託を発注しています。

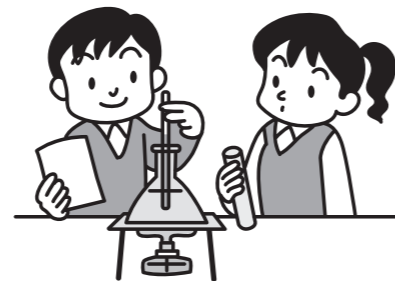
しかし、秋芳地区の住民から秋芳北部地域の水源を利用し、ブレンド方式による軟水化をしてほしいという要望書が出ましたので、軟水化の方式について、コスト計算を十二分に行い、検討していきたいと思っております。

4 教育環境の整備について

問 小中学校の統廃合に伴う、安心・安全な登下校の確保、地域特有の行事・文化の継承、統合された学校の跡地の利活用についてお尋ねします。

答 今後学校を再編統合する場合、小学校の遠距離通学の場合は、スクールバスやタクシーでの送迎、中学校は原則公共交通機関の利用ですが、それが困難な場合はスクールバスの導入も検討したいと考えています。

学校の統廃合後は、統合前のそれぞれの良いものは継承していきながら、いろんな行事や伝統と一緒に、新しくつくっていくことも大事だと考えます。閉校となる学校施設の利活用については、関係部署とも協議のうえ、その地域のニーズを最優先しながら検討してまいります。



委員会報告

教育民生建設観光委員会報告

問 土地改良事業について、ため池改修工事は金額が減額になるケースが多いのはなぜですか。

答 入札で減額になる場合や、工事を行う前の調査段階で、現地の地形により差異が生じ、減額や増額になることがあります。

問 西厚保町の深土バイパスの開通により、県道が市道になりますが、現在補修等が必要なところの対応はどうなりますか。

答 危険箇所等の補修等については、計画当初に県と協定書を締結しており、それに沿って担当者同士で確認し、県にお願いしています。

地域産業活性化対策特別委員会

地域産業の活性化を図るうえで、地域ブランドの開発並びに地域循環型産業の確立は重要戦略の一つです。美祢市にはその素材となりうる資源が豊富に存在しています。地域にあるものを掘り起こし、新たな価値を付加することにより雇用と所得を生み出すことがとても重要なことだと考えます。

このたび当特別委員会の中で、美祢地域ブランドに関する意見を集約しました。その内容は、

- 1 ブランド認定の基準について
- 2 ブランド認定後の特典について
- 3 ブランド認定の選考委員の人選について

など要望、提案をするもので、それらを“六次産業化の推進にかかる美祢地域ブランドに関する要望決議について”として、本会議で決議し、執行部に提出しました。

また、これまで検討を重ねてきたバイオエタ

問 大嶺町西分の厚狭川の護岸嵩上工事の計画と日程は、どのようになりますか。

答 県事業で、平成26年1月～3月の間に実施する予定です。その後、七田線の改良を行う予定にしています。

問 淳美小学校の給食統合に関して、地域住民からいろんな意見がでていますが、状況はいかかですか。

答 昨年末、給食調理場移行準備協議会を設置し、その中で地域の意見をいただきながら対応をしています。平成26年4月からの共同調理場移行に向けて準備を進めています。

ノール事業については、国内での実証例がなく検証が難しいため、今後の経過を見守ることとしました。

以上、これまでの委員会の審議事項をまとめて議長に報告し、今回で特別委員会の審査を終了しました。

予算委員会報告

問 今年度、美祢あきない活性化応援補助金を活用されているのは、どこの地域の方でしょうか。

また、補助金についての周知は、どのような方法で行っていますか。

答 平成25年度の申請件数は、美祢地域の1件です。

ホームページや広報などで周知しており、必要な場合は商工会から事業者に対し、直接説明していただくようお願いしています。

問 美東病院の外来患者数は、平成20年度と比べて18,152人減少していますが、どのような理由が考えられますか。

答 患者の減少については、診療日数の減少や一部の診療科目を非常勤講師に変更した影響もあると思いますが、総合的には慢性的な医師不足が影響していると考えています。今後も医師の確保に努めてまいります。

問 下水道の普及率は、どの程度進んでいますか。

答 平成24年度の水洗化できる区域の人口は、8,538人(3,491戸)で、そのうち86.7%が水洗化されています。区域については、年々拡張しています。

問 秋芳地域の水源調査を行うための補正予算が計上されていますが、どのような内

容の調査を行うのですか。

答 主な調査内容としては、高密度電気探査という方法で水脈探査を行い、箇所を選定してボーリング調査を実施します。その後、水量確認、水質検査などを行うことになります。

問 当初予算で承認した硬度低減化装置設置に向けた申請書類作成業務の進捗状況について、お聞かせください。

答 硬度低減化の方法は未定ですが、申請書類作成業務については、継続して行っています。

なお、申請については、美東町と秋芳町で別々に行うことになります。



問 本市における今後の財政規模の推移と人件費削減の限界値について、市長の見解をお尋ねします。

答 平成31年には現在と比べて普通交付税が12億円程度減額される見込みです。

人件費は合併後、5億円程度の圧縮をしていますが、平成32年までに、さらに4億円近くの圧縮を考えています。

問 現在の財政状況は、合併当初の財政計画よりもはるかに良好です。財政計画を中長期的に見直す考えをお持ちでしょうか。

答 財政計画については、既に平成32年度決算までの見込みを作成しています。

問 白、黒、赤のジオパーク構想推進のために、市内の博物館等を統合して、観光振興にも役立つような拠点施設を建設してはいかがでしょうか。

答 拠点施設の老朽化は、ジオパーク認定委員会からも指摘を受けています。そのため早期に施設整備を行いたいと思っていますし、その施設を中心に観光収入への波及効果も得たいと考えています。

問 観光特別会計は平成26年度に黒字化する見込みですが、その後の方針についてお尋ねします。

答 観光事業で得られる黒字部分については、議会や市民のご理解を得ながら使い方を考えていきたいと思っています。

問 台湾交流事業の費用対効果について、住民から懸念する声もありますが、どのようにお考えでしょうか。

答 台湾に交流事務所を昨年設置したことにより、秋芳洞では台湾からの入洞者が前年比300%を越えるなど、明確な効果が出ていることをご理解いただきたいと思います。

美祢市議会からの政策提言について

美祢市議会では、市政に関する重要な政策及び課題に対し、議会としての共通認識を図り、合意形成を図るために政策討論会を行っています。

9月20日に行われた第4回政策討論会に於いて、議題であります「美祢観光開発(株)及び美祢農林開発(株)の振興について」の提言を次のとおり取りまとめ、10月1日に秋山議長同席のもと、村田市長にこれを提出いたしました。

提言

- 1 第三セクターに関する指針の作成
 - (1) 基本的な考え方
 - ・現状と課題を整理し、第三セクターに関わる市としての基本的な考え方を示す
 - (2) 市が主体的に取り組む課題
 - ・人的、財政的、点検評価、今後の方針、指導監督
 - (3) 第三セクターが主体的に取り組む課題
 - ・経営責任の明確化、執行体制(マネジメント)の確立
 - ・作業量と人事・労務管理の効率化
 - (4) 事業実績の評価分析手法の確立
 - ・市及び第三セクターの取り組みの明確化
- 2 経営改善計画の早期策定と運営管理
 - (1) 経営改善計画の策定
 - ・専門家、市、第三セクター(出資者)との共同作業
 - (2) 策定後の推進体制
 - ・マネジメントの確立
 - (3) 評価分析手法の構築
 - ・経営検討委員会の設置
 - ・両者の役割分担を明確にする
 - (4) 現下の需要に合った施設のリニューアルの検討
- 3 喫緊に取り組む改善策
 - (1) 作業量と労務管理
 - ・人事配置を工夫して効率化を図り、人件費削減に努める
 - (2) レストランの改善
 - ・メニュー、人事配置の見直し
 - ・実証販売(アウトドア、インスタ商品開発)
 - ・最終的にはテナントの公募
 - (3) 特産品売り場と生鮮野菜売り場の統一化
 - ・現状の特産品売り場の陳列方法を変更する事により、改善可能(立体陳列や壁面を有効利用した陳列等)
 - (4) 生鮮野菜の生産者体制を強化構築
 - ・生産者の高齢化が進行しており、出荷量が低下傾向にある
 - ・品質基準がないため品質に「ムラ」が多いので、他の道の駅を参考にする
 - ・早急に生産者との協議会を立ち上げ、対策を実施する
 - (5) これらの改善状況を半期毎に議会に報告すること



写真右から村田市長、秋山議長、荒山座長



綾木八幡宮秋祭り

平成25年度 第2回議会報告会

18:30 ~ 20:30 (予定)

12月 9日(月) 美東センター

12月10日(火) 別府公民館

12月11日(水) 於福公民館

どの会場でも
どなたでも
ご参加いただけます。



平成25年第4回(12月)定例会は、右表のように予定しています。

市民の皆さん、ぜひ傍聴にお越しください。

正式な日程は、11月26日(火)に開催予定の議会運営委員会で決定します。

日 程	時 間	内 容 (予 定)
12月 3日(火)	10:00	本会議(初日)
12月 5日(木)	10:00	本会議(一般質問)
12月 6日(金)	10:00	本会議(一般質問)
12月 9日(月)	9:30	教育民生建設観光委員会
12月10日(火)	9:30	総務企業委員会
12月11日(水)	9:30	予算委員会
12月19日(木)	10:00	本会議(最終日)

編 集 後 記

平成25年度は、「ジオパーク活動の推進」「六次産業の推進」「国際交流の促進」を市政の3本柱として予算が編成され、実行されているところでありますが、日本ジオパークへの認定が今回見送りとなり残念な結果となりました。しかし、今後も日本及び世界ジオパーク認定への目標に向かって、市民一人ひとりがプレゼンテーションできるよう取り組んで行く事が大事であり、いつの日か「白・黒・赤の地質遺産や歴史」が多くの人に認められることを夢見て頑張りたいものだと思います。(萬代泰生)

議会だより編集委員会

委員 長	秋枝 秀稔
副委員 長	三好 睦子
委 員	萬代 泰生
委 員	岡山 隆
委 員	馬屋原真一
委 員	俵 薫



美祿市議会事務局

〒759-2292 美祿市大嶺町東分326-1

TEL.0837-52-1117 FAX.0837-52-1180

美祿市ホームページ <http://www2.city.mine.lg.jp/>